

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「上武絹の道」広域連携DMOによる観光連携

2 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県伊勢崎市、藤岡市及び富岡市並びに群馬県甘楽郡下仁田町、埼玉県熊谷市、本庄市及び深谷市

3 地域再生計画の区域

群馬県伊勢崎市、藤岡市及び富岡市並びに群馬県甘楽郡下仁田町、埼玉県熊谷市、本庄市及び深谷市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録され、一躍脚光を浴び、多くの観光客が訪れるようになったが、その効果は一部の地域に限定されている。また、高速道路が整備され首都圏から100キロメートル圏内にある当地域は、軽井沢や草津など大観光地への通過型観光地となっており、宿泊地として選ばれず観光消費額は伸び悩んでいる。

本地域は、魅力的な観光資源を有しているが、地域間での連携、関係者及び住民等の巻き込みが不十分であることや国内外への効果的なPR不足もあり、観光資源を活かしきれていない。このことは、顧客の満足度が向上せず、リピーター確保につながっていない。

4-2 地方創生として目指す将来像

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」とその重要なコンテンツである絹産業に関連する文化財や地域資源を集積した当地域を「上武絹の道」として一つの集客施設と捉え、「NPO法人産業観光学習館」が母体となり広域連携DMOを設立運営し、自治体や関係機関との協働により地域経済の発展と永続的かつ自立的な観光地経営を目指す。

現在、地方創生加速化交付金を活用し、関係自治体それぞれが持つ地域資源の掘り起しと磨き上げを行うとともに、広域連携DMOの設立に向けた準備をはじめ、ホームページの開設、ポスター・チラシの作成など、当地域の魅力発信のための事業に取り組んでいる。これを更に深化させ、農業や商工業、教育など多様な関係者と連携を推進し、マーケティング、プロモーション、セールス、イベントの開催など「稼ぐ」力を引き出すことのできる地域経営の視点に立った広域連携DMOを設立運営するとともに、魅力ある観光ルートの造成、インバウンド誘客や体験事業による都市部との交流など、観光入込客の増加を図る。また、絹産業をベースに発展してきた当地域にし

かできない観光商品の開発などにより、地場産業の振興を図りながら雇用機会を創出する事業展開を図る。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成 29 年度 増加分 (1 年目)	平成 30 年度 増加分 (2 年目)	平成 31 年度 増加分 (3 年目)	KPI 増加分 の累計
域内観光入込 客数 (人)	20,738,000	150,000	200,000	300,000	650,000
域内観光消費 額 (千円)	97,945,353	750,000	1,000,000	1,250,000	3,000,000
域内宿泊施設 の宿泊者数 (人)	807,500	5,000	7,000	12,000	24,000

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」とその重要なコンテンツである絹産業に関連する文化財や地域資源を集積した当地域を「上武絹の道」として一つの集客施設と捉え、広域連携DMOを設立し、地域経済の発展と永続的かつ自立的な観光地経営を目指す。農業や商工業、教育など多様な関係者と連携を推進し、「稼ぐ」力を引き出す地域経営の視点に立った運営で、魅力ある観光ルート、インバウンド誘客や体験事業による都市部との交流などで観光入込客の増加を図るとともに、絹産業をベースに当地域にしかできない観光商品の開発、地場産業の振興を図り雇用機会を創出する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

群馬県伊勢崎市、藤岡市及び富岡市並びに群馬県甘楽郡下仁田町、埼玉県熊谷市、本庄市及び深谷市

② 事業の名称

「上武絹の道」広域連携DMOによる観光連携

③ 事業の内容

【「上武絹の道」広域連携DMO】

NPO法人産業観光学習館が母体となり、「上武絹の道」広域連携DMOを立ち上げることにより、次の事業を行う。

まず、事業計画段階として、首都圏を中心にマーケティング調査を行う。エリア全体の認知、地域ストーリーの理解、訪問経験、満足度、観光ニーズ等を、10代から70代まで、各世代をバランスよく1,000名規模で一定規模をベースにした定点型インターネット調査を実施する。また、広域連携の強化、コンテンツの研磨のため7市町合同で民間、自治体、学生を軸にした地域資源の発掘と活用を目指す広域ワークショップを実施し、人的レベルでの多様なネットワークを形成、実務的な広域連携を推進する。次に事業実施段階として、マーケティング調査、ワークショップで明らかになったエリア全体の地域資源等を生かし、かつて絹産業で結ばれた当地域の観光・産業資源を結び付け、多様な関係業種と協働しながら、魅力的な観光ルートの造成を行う。それに平行して、人材力の構築等を目的として、各自治体の観光ガイドを連携し、広域ガイドの育成強化を図るとともに、観光施設、宿泊、飲食店等を対象にしたおもてなし強化を推進する。

また、地域育成支援の観点から、域内の行政、民間事業者、学生団体等、様々な形態で「上武絹の道」をテーマにした、食・地場産品・イベント等の企画運営を、市民参加型の広域観光コンテンツ実践開発コンテストを実施するとともに、域内と域外の小学生を対象に「上武絹の道」について学ぶ宿題（自由研究）応援合宿を開催し、域内資源の見学、交流アトラクションを通じて、地域理解と愛着を促進する。さらに、呼び込み力、広報力の強化を図るため、インバウンド対応として、訪日外国人の目を通して地域の魅力を、Y o u T u b e r と呼ばれる個人クリエイターを招聘し、独自目線での情報発信やマンガソリューションを活用した情報発信を行う。また、広域誘客宣伝、SNSコントロール、各種メディアへのパブリシティ活動など各種ロビー活動の中核となるブランディングセンターの設置を目指す。

この結果、拠点観光施設の観光入込者数の増加をはじめ、地域産業の活性化、多様業種との連携による新たな旅行商品の開発などが見込める。最後に、事業検証段階としては、これら広域連携DMOの事業を取り仕切る組織である上武絹の道推進協議会の運営を通じ、事業の総括、次期展開ビジョンの策定を行うなど、継続して事業実施するための体制整備の支援を行う。

【富岡市】

世界遺産「富岡製糸場」を有する本市では、「上武絹の道」の中心的役割を担うため、富岡製糸場の価値を高め、交流人口を増加させるとともに、その効果を「上武絹の道」の域内へ周遊や滞在時間の延長、上武絹の道エリア全体を着地型観光へ育てていく取り組みをリードする。始めに富岡版DMOを設立し、「上武絹の道」広域連携DMOとの連携を図る。富岡製糸場へ来訪者が集中ことを踏まえ、富岡製糸場でマーケティング調査を行い、顧客の動向・ニーズを調べ、本域内における顧客満

足度を向上させる取り組みに反映をさせるとともに、教育旅行等の団体誘致、メディア対策、観光キャンペーン、映画・ロケ誘致によるマスメディア等の露出を強化し域内への交流人口の増加へつなげる。また、インバウンド対策や観光体験事業、地場産商品のPRを行い、滞在時間の延長による観光消費額を増加させる取り組みを行う。さらに域内周遊へ促進させるため、市内周遊観光バスの車内で「上武絹の道」の各資産と関連性や役割などガイドによる情報発信を行い、本市及び「上武絹の道」の域内に波及させ、交流人口増加や、域内の地場産業を活性化させ地域経済への波及効果による雇用の創出へとつなげる。

【藤岡市】

広域連携DMOは点在する地域資源を線として結びつける役割を担うが、各自治体においては、その結ばれた線を面へと波及させるため更に観光地としての魅力を高めていく必要がある。本市は上武絹の道ルートの中継点に位置し、関連施設である世界文化遺産「高山社跡」の他にも、桜山公園やふじの咲く丘、花の交流館など、一年を通して花を楽しむことができる環境があり、豊かな自然が重要な観光資源の要素となっている。また、本市においては、地方創生加速化交付金を活用して、平成28年度から街なかを花で装飾するための取り組みを実施しており、これにより地元住民の主動によるオープンガーデン形成の初期段階を支援してきたが、推進交付金を活用してこの活動を継続支援することで、広域連携DMOを通じて本市を訪れた観光客と住民の交流を促進させ、滞在時間と満足度の向上を狙うものである。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

関係市町からの負担金や支持母体からの人的・物的支援により活動を行い、旅行商品の開発、イベントの実施等による事業収益などにより、自立を目指す。

【官民協働】

広域連携DMOによる観光振興だけでなく、農業や商工業、教育など多様な関係者との連携を推進し、地場産業の活性化による雇用を創出するとともに、稼ぐ力を引き出すことを目指す。

【政策間連携】

広域連携DMOによる観光振興について観光入込客数による交流人口増加だけでなく、地元企業や農業、商工関連などの多様な連携及び参画により地域内での経済活動が活性化し、新たな産業や雇用を創出する。

【地域間連携】

世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」とその重要なコンテンツである絹産業に関連する文化財や地域資源を集積した地域を「上武絹の道」として結び付け、関係市町それぞれが持つ地域資源の掘り起こしと磨き上げを行うとともに、自治体や関係機関と協働し地域経済の発展と観光地経営の活性化を図る。

【その他の先導性】

「特になし」

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成 29 年度 増加分 (1 年目)	平成 30 年度 増加分 (2 年目)	平成 31 年度 増加分 (3 年目)	KPI 増加分 の累計
域内観光入込 客数 (人)	20,738,000	150,000	200,000	300,000	650,000
域内観光消費 額 (千円)	97,945,353	750,000	1,000,000	1,250,000	3,000,000
域内宿泊施設 の宿泊者数 (人)	807,500	5,000	7,000	12,000	24,000

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

伊勢崎市：伊勢崎市まち・ひと・しごと創生会議による効果検証を通じてP D C Aサイクルによる事業の検証を行う。

藤岡市：藤岡市まち・ひと・しごと創生推進委員会を活用し、事業内容・成果を踏まえてP D C Aによる検証・改善等を行う。

富岡市：富岡市総合戦略検証委員会による効果検証を通じてP D C Aサイクルによる事業の検証を行う。

群馬県甘楽郡下仁田町：下仁田町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会による効果検証を通じてP D C Aサイクルによる事業の検証を行う。

熊谷市：熊谷市商工業振興対策委員会による効果検証を通じてP D C Aサイクルによる事業の検証を行う。

本庄市：本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会において、K P IをもとにP D C Aサイクルにより進捗管理を行い、事業の検証を行う。

深谷市：深谷市総合戦略推進委員会による効果検証を通じてP D C Aサイクルによる事業の検証を行う。

【外部組織の参画者】

伊勢崎市：大学、区長会、商工団体、連合、P T A、社会福祉協議会、農協、金融、県行政事務所

藤岡市：商工団体・農業協同組合・県行政事務所・職業安定所・大学・高等学校・銀行・労働団体・新聞社・市民団体

富岡市：商工団体・県行政事務所・大学・労働者・市民団体

群馬県甘楽郡下仁田町：商工団体・金融機関・まちづくり団体

熊谷市：市議会議員、商工団体、金融機関、有識者、市民団体

本庄市：住民、産業界、教育機関、行政機関、労働団体、メディア

深谷市：市議会・市民・産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働関係団体

【検証結果の公表の方法】

伊勢崎市：毎年度、11月時点で市ホームページにて公表

藤岡市：毎年度、7月時点で市ホームページにて公表

富岡市：毎年度、9月時点で市ホームページにて公表

群馬県甘楽郡下仁田町：毎年度、9月時点で町ホームページにて公表

熊谷市：毎年度、9月時点で市ホームページにて公表

本庄市：毎年度、9月時点で市ホームページにて公表

深谷市：毎年度、9月時点で市ホームページにて公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 172,186千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定日から平成32年3月31日（3カ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生法基本方針に基づく支援

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取り組み

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標達成状況に係る評価に関する手法

【検証方法】

伊勢崎市：伊勢崎市まち・ひと・しごと創生会議による効果検証を通じてPDCAサイクルによる事業の検証を行う。

藤岡市：藤岡市まち・ひと・しごと創生推進委員会を活用し、事業内容・成果を踏まえてPDCAによる検証・改善等を行う。

富岡市：富岡市総合戦略検証委員会による効果検証を通じてPDCAサイクルによる事業の検証を行う。

群馬県甘楽郡下仁田町：下仁田町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会による効果検証を通じてPDCAサイクルによる事業の検証を行う。

熊谷市：熊谷市商工業振興対策委員会による効果検証を通じてPDCAサイクルによる事業の検証を行う。

本庄市：本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会において、KPIをもとにPDCAサイクルにより進捗管理を行い、事業の検証を行う。

深谷市：深谷市総合戦略推進委員会による効果検証を通じてPDCAサイクルによる事業の検証を行う。

【外部組織の参画者】

伊勢崎市：大学、区長会、商工団体、連合、PTA、社会福祉協議会、農協、金融、県行政事務所

藤岡市：商工団体・農業協同組合・県行政事務所・職業安定所・大学・高等学校・銀行・労働団体・新聞社・市民団体

富岡市：商工団体・県行政事務所・大学・労働者・市民団体

群馬県甘楽郡下仁田町：商工団体・金融機関・まちづくり団体

熊谷市：市議会議員、商工団体、金融機関、有識者、市民団体

本庄市：住民、産業界、教育機関、行政機関、労働団体、メディア

深谷市：市議会・市民・産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働関係団体

7-2 目標達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成 29 年度 増加分 (1 年目)	平成 30 年度 増加分 (2 年目)	平成 31 年度 増加分 (3 年目)	KPI 増加分 の累計
域内観光入込 客数 (人)	20,738,000	150,000	200,000	300,000	650,000
域内観光消費 額 (千円)	97,945,353	750,000	1,000,000	1,250,000	3,000,000
域内宿泊施設 の宿泊者数 (人)	807,500	5,000	7,000	12,000	24,000

7-3 目標達成状況に係る評価の公表の手法

伊勢崎市：毎年度、11月時点で市ホームページにて公表

藤岡市：毎年度、7月時点で市ホームページにて公表

富岡市：毎年度、9月時点で市ホームページにて公表

群馬県甘楽郡下仁田町：毎年度、9月時点で町ホームページにて公表

熊谷市：毎年度、9月時点で市ホームページにて公表

本庄市：毎年度、9月時点で市ホームページにて公表

深谷市：毎年度、9月時点で市ホームページにて公表